

1

ゲーム行動論演習 /  
社会心理学演習

初回 ガイダンス

高木英至 2012.10.02

この授業は...

2

- F16082 ゲーム行動論演習
- L26062 社会心理学演習 II
- ゲーム理論周りの領域を扱う

3

- ゲーム実験
  - 社会心理学
- 行動経済学
  - 友野典男 (2006) 『行動経済学—経済は「感情」で動いている』、光文社新書.
  - マッテオ・モッテルリーニ (2006) 『経済は感情で動く』、紀伊国屋書店.
- ゲーム理論の応用
  - 中山幹夫、他(編) (2000) 『ゲーム理論で解く』、有斐閣.
- 社会的決定理論
  - 佐伯胖 (1980) 『「きめ方」の論理』、東京大学出版会.

社会的決定理論

4

- 諸個人が独自に選好を持つ状況で、「社会的決定」をする一般的な方法はあるか？
  - 個別事項の決定ではない
  - 一般的に決める方法があるか？ということ
- 個人の選好から出発して、「社会の選好」を作れるか？
  - 社会的厚生関数

## 投票のパラドックス

5

- 例: 3つの政策事項
  - 軍事予算、公共工事、福祉事業
  - 予算上、2つしか実行できない、と仮定

	軍事予算	公共工事	福祉事業
グループA	○	○	×
グループB	○	×	○
グループC	×	○	○
個別事項の 多数決結果	○	○	○

## 投票のパラドックス(続き)

6

- 例: 3つの政策事項
  - 軍事予算、公共工事、福祉事業
  - グループ間の選好が異なる
    - グループA: 軍事予算 > 公共工事 > 福祉事業
    - グループB: 公共工事 > 福祉事業 > 軍事予算
    - グループC: 福祉事業 > 軍事予算 > 公共工事
  - 2つずつの多数決
    - 軍事予算 vs 公共工事 → 軍事予算 > 公共工事
    - 公共工事 vs 福祉事業 → 公共工事 > 福祉事業
    - 福祉事業 vs 軍事予算 → 福祉事業 > 軍事予算
  - 合成すると: 軍事予算 > 公共工事 > 福祉事業 > 軍事予算
    - 循環してしまう。「選好」(順序)の要件を満たさない

## より一般的には

7

$D$ : 社会的選好  
 $D_i$ : 個人 $i$ の選好  
 $f$ : 社会的厚生関数  
 $D = f(D_1, D_2, D_3, \dots, D_i, \dots)$

- ここでの問題
  - 個人が自由な選好を持つとすれば、「合理的」な $f$ は存在しない
  - Arrowの一般可能性定理
  - Senの自由主義のパラドックス

8

# 今日はおしまい

